

公益社団法人 日本技術士会北海道本部 社会活動委員会主催  
令和元年 社会交流セミナーのご案内

# みんなで考える となりのヒグマとの つきあい方

人の生活を守りつつ、  
ヒグマの問題を  
少なくするための  
方法について  
一緒に考えましょう!



講師

北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部 環境科学研究センター  
研究主任 **近藤 麻実 氏**

日時

**令和元年 11月 28日 (木) 15:00~17:00**

※講演会終了後、同ホテル内にて情報交換会を行います。(会費別途 3,000 円)

場所

ホテル札幌ガーデンパレス

住所 札幌市中央区北 1 条西 6 丁目 電話 011-261-5311

定員

**150名**

## 参加申し込みのご案内

参加費 : 一般市民・学生の方 : 無料

技術士及び技術士補の方 : 会員 1,000 円、会友 1,500 円、非会員 2,000 円

その他の方 (CPD 対象者) : 2,000 円

※CPD 無料参加券 使用可

申し込み先 : 下記の E メールまたは FAX にて、①講演会の参加費区分、②情報交換会への出欠、③氏名 (よみがな)、④連絡先等を添えてお申し込みください。

公益社団法人 日本技術士会北海道本部 事務局 (長谷川、岸本)

Eメール : uketsuke@ipej-hokkaido.jp FAX : 011-801-1618

申込締切日 : **令和元年 11月 25日 (月)** (定員になり次第締め切りますので予めご了承ください)

## プログラム

- 15:00 開会挨拶 公益社団法人 日本技術士会北海道本部 本部長 森 隆広
- 15:05 講演 『みんなで考える となりのヒグマとのつきあい方』  
北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部 環境科学研究センター  
研究主任 近藤 麻実 氏
- 16:40 質疑・応答
- 17:00 閉会挨拶 公益社団法人 日本技術士会北海道本部 社会活動委員会  
委員長 植村 豊樹

※ 講演会終了後、同ホテル内にて情報交換会を行います。(会費別途 3,000 円)

## 講演要旨

近年、市街地への出没などでニュースを騒がせることが増えてきたヒグマ。意外と身近な動物であることや、各地で問題が起きていることが多くの人々に認識されるようになってきたのではないかと思います。しかし、その身近なヒグマのこと、皆さんはどれくらい知っているでしょうか。出没注意と呼びかけられても、どのように対処すれば良いのかわからない方も多いことと思います。誰しも、ヒグマによる人身事故や農作物被害は避けたいでしょう。被害を避けるには、まず相手を知り、対策を理解することが重要です。

**本講演では、ヒグマとはどのような動物なのか、まずは基本的な生態をお話しします。**

一方で、被害は防ぎたいが、ヒグマが駆除されることに対して胸が痛むという方も多いのではないかと思います。駆除の報道が出るたびに、「殺さないで」「森に返してあげて」という声が聞かれます。しかし、そういった声を受けても、駆除以外の対応をとることは難しいのが現状です。また、そもそも出没や被害が発生しなければ駆除という選択をする必要もなくなります。出没も被害も発生し続けています。

**講演の後半では、駆除以外の対応をとれないのはなぜか、出没の背景やヒグマ対策現場の現状と課題についてお話しします。**

**本セミナーが、これからもヒグマのいる北海道で暮らしていくために、人の生活を守りつつヒグマの問題を少なくするために、どのように課題を解決していくか考える時間になればと思います。**

## 講師プロフィール

三重県津市出身、岐阜大学農学部獣医学科卒

2003年 岐阜大学ツキノワグマ研究会なるサークルに入り、  
ここから、クマとのつきあいが始まる。

2007～2008年 岐阜県のツキノワグマの生態調査、ツキノワグマ管理計画策定のための  
個体数推定調査に関わる。

2009年 岐阜大学大学院連合獣医学研究課 博士課程入学

2011年 道総研へ就職、道南地区野生生物室（江差町）に着任  
ツキノワグマからヒグマの世界へ

渡島半島地域においてヒグマの生息動向調査や被害調査等に従事

2018年 札幌に転勤、現在にいたる



現在は、ヒグマとアライグマの2種を担当し、人と野生動物とがうまく折り合いをつけて暮らしていくため、正しい知識の普及啓発や被害対策等に取り組んでいきたいと考えています。

クマたちとの付き合いはツキノワグマから数えて16年目、ヒグマに関わり始めて9年目になります。

その他、日本クマネットワークニュースレター編集委員としても活動しています。